

これまでの区政会議における主な意見

資料 2

【こども教育部会】

NO	項目	主な意見	対 応
1	待機児童対策に関すること	・ 入りやすい状況の保育園の情報の公開や、人気の高い保育園へ寄せられているニーズを分析して保育要求を分散させる等、区民に見える形で動いていく必要があると思う。	・ 10 月の一斉入所申込みにかかる募集数及び申込数を各区ホームページで公表している。これを受けての希望保育施設の変更申請を受け付けている。 ・ 平成 27 年度から、毎月 1 日に市内全保育施設の、翌月 1 日からの途中入所可能人数を各区ホームページで公表し、また、スマホ等を活用した地図情報と連動させた施設の空き情報も公開している。途中入所を希望される保護者の皆さんに保育施設の空き状況をわかりやすくお伝えすることにより、保育施設の希望選択が行いやすくなると考えている。 ・ 鶴見区保育施設一覧を区ホームページに掲載しているが、各保育施設の公式ホームページにリンクする等、各保育施設にアクセスしやすいページにリニューアルする。

NO	項目	主な意見	対 応
2	児童虐待防止に関すること	・児童虐待防止に関して、地域との連携を深める必要がある。	・今後、民生委員・児童委員や主任児童委員を含め、地域の方を対象に、こういったケースに関し見守りや通報が必要かについて、皆さんにお伝えしていける機会をつくっていく。
3	若者の意見聴取について	・中学生・高校生に鶴見区についての意見を聞ける場を設けてはどうか。 ・成人の日の記念のつどいで、区政会議委員の席を設け、二十歳の誓いのスピーチを聞ける機会を設けてはどうか。	・12 月中に高校生会議(鶴見商業高校・汎愛高校・茨田高校の生徒)を開催する方向で調整中。 ・来賓として各地域活動協議会会長や各種団体の長などと併せて、区政会議こども教育部会委員の席を設ける旨、成人式実行委員会に報告し、了承済み。